

現状と課題

- 東京都豪雨対策基本方針に基づき、区部全域で1時間50ミリ降雨への対応を基本に施設整備
- 早期に浸水被害を軽減するため、浸水の危険性が高い57地区を重点化
うち甚大な被害が発生している地区など15地区は1時間75ミリで整備
- 激甚化・頻発化する豪雨や将来の気候変動の影響を踏まえ、取組の更なる強化が必要

令和3年度末時点

	50ミリ	75ミリ	計
完了	22地区	6地区	28地区
事業中	13地区	7地区	20地区
未着手	7地区	2地区	9地区
合計	42地区	15地区	57地区

完了・事業中：約8割（48地区/57地区）

取組方針

■ 目標整備水準

1時間50ミリ（年超過確率：1/3） ⇒ **1時間75ミリ（年超過確率：1/20）**

■ 新たな重点地区の選定

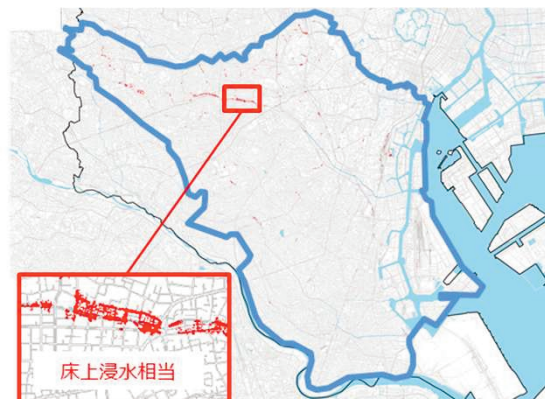
浸水実績に加え、流出解析シミュレーションを活用し、**事前防災の観点**を考慮して新たに**重点地区を10地区選定**

・浸水実績

近年発生している浸水実績から、顕在化している浸水リスクを評価

・事前防災の観点

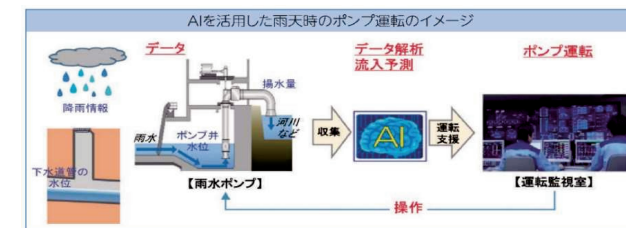
シミュレーション結果から得られる浸水面積等から浸水リスクを評価



1時間75ミリの流出解析シミュレーションイメージ

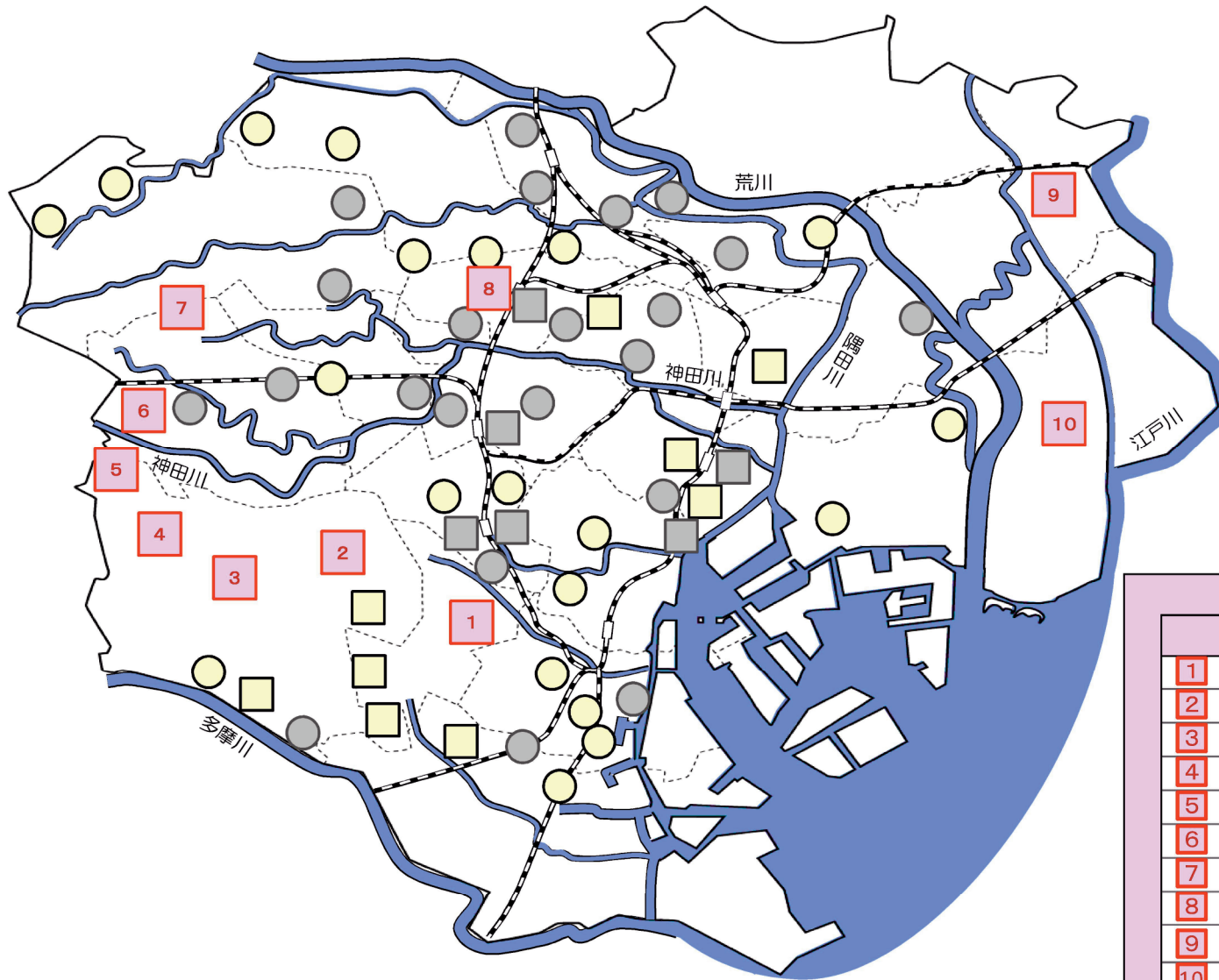
■ ソフト対策の充実

- 下水道施設の維持管理の充実
例：AIを活用した雨天時の雨水ポンプ運転支援技術の開発
- 浸水対策事業の円滑化
例：再開発などのまちづくり整備に併せた浸水対策施設の整備
- 浸水リスクや浸水対策情報の認知度向上
例：SNSや動画などのデジタルメディアをはじめ、様々な情報媒体の活用



AIを活用した雨水ポンプ所運転支援技術の開発

新たな重点地区



□ : 75ミリア対策 ○ : 50ミリア対策

新たに追加する重点地区		10地区
対象地区名		
1	目黒区下目黒	
2	世田谷区代沢	
3	世田谷区八幡山	
4	世田谷区南烏山	
5	杉並区久我山	
6	杉並区西荻南	
7	杉並区井草	
8	豊島区池袋本町	
9	葛飾区金町	
10	江戸川区中央	
○ □	事業中または未着手の地区（R3年度末時点）	29地区
● ■	完了した地区（R3年度末時点）	28地区
合計		67地区